



一中だより

校訓 「自ら考え 自ら行い 自ら責任を」

豊中市立第一中学校
学校だより 第17号
令和4年(2022年)
2月9日
発行責任者 高橋武彦

2月に入り**節分**(2月3日)と**立春**(2月4日)が続く、暦の上では季節が進みました。
節分とは文字通り「季節を分ける」という意味です。具体的には「冬と春を分ける」ということであり、**節分までが冬、立春からは春**ということになります。あくまでも暦の上です。
で、私たちが感じる**季節感**とは少し違いがありますね。

2月4日には**冬季オリンピック北京大会**が開幕しました。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染急拡大の中、各国の選手たちが北京に集まり、**熱戦**を繰り広げています。**選手**たちが大いに活躍し、**見ている私たちが感動する大会**になって欲しいと思います。

3年生は進路選択の正念場



すでに受験を終えた3年生もいますが、2月から3月にかけて、多くの3年生にとって**進路選択の正念場**を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大が続く、感染予防をしながら受験勉強をしているものと思います。**明日は私学入試**です。持てる**力**を出しきれるよう切に願います。
多くの3年生が受験する2月・3月の入試日程は以下の通りです。

2月10日(木)・11日(金)	私学入試 (大阪府・兵庫県・京都府)
2月17日(木)・18日(金)	公立高校 特別選抜入試
3月9日(水)	公立高校 一般選抜入試

私が3年生の学級担任をしていた時にはいつも、入試直前に「受験の心得」について話をしていました。3年生の皆さんには次の3つのことを頭に入れてほしいと思います。

- ❶ 第一に「自分を信じること」
過信してはいけませんが、あれだけ勉強してきたのだ。それを本番で発揮するだけ。だれしも不安はある。不安など人間の心が作り出したもの。**自信**を持って(自分を信じて)堂々と受験しよう。
 - ❷ 第二に「感謝を忘れないこと」
受験できるのは、家の人や周囲の人たちの**支え**があったからこそ。**家の人**、**支えてもらった**すべての人への**感謝**を忘れてはいけません。
 - ❸ 第三に「緊張している時は笑顔をつくって深呼吸をしよう」
緊張するのは当たり前。適度な緊張はあった方が逆に**集中力**が高まる。他の受験生だって緊張している。緊張していると思ったら、**笑顔**をつくって**深呼吸**をしよう(少しは緊張がやわらぐ)。
- 【もうひとつ】 当たり前のことですが、入試直前は**体調管理**が最も大事です。生活リズムを整え(早起き早寝)、**三度の食事**をしっかりとうろう。

■ 1年生「国際理解学習」

1月26日に1年生は外国人講師を招いて交流する「国際理解学習」を実施しました。前もって、各クラスでは担当する国・地域について、「言葉」「食べ物」「衣服」「伝統行事」「学校の様子」などを調べて発表していましたので、1年生は興味を持って外国人講師のお話を聞いていました。日本と似ているところもあれば、違うところもあり、どのクラスも楽しく学習する時間になったと思います。外国のことを知ることで、日本の文化や生活などを見つめ直すきっかけになってくれたら、うれしいですね。



↑ 1年1組 台湾の方のお話



↑ 1年2組 中国の方のお話



↑ 1年3組 フィリピンの方のお話



↑ 1年4組 ベトナムの方のお話



↑ 1年5組 韓国の方のお話

■ 2年生「人権学習」

1月28日に2年生は「人権学習」として、とよなか人権文化まちづくり協会の講師の先生から「部落問題（同和問題）」について、お話をお聴きしました。

2年生は部落問題の歴史的背景や結婚差別のこと、ネットで拡散される差別などについて学び、差別された人たちの思いを知ることができ、部落問題について、わずかですが、理解が深められたものと思います。少しずついいですので、学び続けることが大切です。

そして、自分のこととして考えられる人になってもらいたいと願っています。



◆とよなか人権文化まちづくり協会（人権平和センター豊中内にあります）について◆

「豊中市における部落問題の解決のための施策をはじめ、人権施策の推進に、豊中市と連携・協力するとともに、差別のないコミュニティの形成に寄与し、すべての人の人権が尊重される人権文化のまちづくりの実現に資することを目的とする」ために設立され、部落問題及びさまざまな人権課題の解決に向けて活動されています。

新型コロナウイルス感染予防は自分を守り 家族を守り、他の人たちを守ることに

新型コロナウイルス感染症の全国的な急拡大に歯止めがかからず、昨日の感染者は全国で9万人を上回り、大阪府では連日1万人を超えています。豊中市内も感染拡大が続いています。

本校では新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、学校教育活動を継続しています。

2月3日(木)～2月10日(木)までの期間を「生徒の皆さんの体調管理期間」とし、クラブ活動を停止しています。体調管理にはより一層注意してもらっていると思います。新型コロナウイルス感染予防をしながらの毎日が続きますが、生徒の皆さんと先生たち全員で感染防止を徹底したいと思います。

■三密防止・基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。

「毎朝の健康観察」「マスク着用」「手洗い」「換気」「人との距離を取る」「黙食」を続けましょう。

◆寒いですが、教室の4か所を「こぶし1つ分～2つ分(10～20cm程度)」開け換気をしましょう。

寒さ対策・ドアや窓の開ける場所を変える等の工夫をしましょう。

- ・気温が低く寒い場合は、ドア・窓を閉め、授業の途中で換気をします(約5分間)。
- ・制服や体操服の中にセーター、トレーナー、カーディガン等を着ることが出来ます。
- ・ひざ掛けを教室内で使うことは可能です。

◆昼食時は特に要注意です。

→ 話はせず、前を向き、静かに食べましょう。食べる前後はマスク着用をお願いします。

■部活動 → 再開後は感染防止対策をより一層徹底した上で、活動をしましょう。

◆感染リスクの高い活動は実施しません。感染リスクの高い活動とは「生徒どうしが近距離で向き合う活動」「大きな発声や激しい呼吸を伴う活動」「身体接触を伴う活動」などです。

他校との練習試合や合同練習等も実施しません。

◆部活動の参加は強制されるものではありません。参加に不安のある人は顧問の先生に相談をしてください。部活動に参加したものの途中で不安を感じた場合も無理せず、顧問の先生に伝えましょう。

■生徒の皆さんや同居者の方が次の場合は登校を控え学校にお知らせください。出席停止となります。

- ・新型コロナウイルス感染症に感染した場合
- ・濃厚接触者あるいは濃厚接触の可能性があると認定され自宅待機の指示をされた場合
- ・PCR検査・抗原検査を受ける予定がある場合やその検査結果を待っている場合
- ・発熱などの風邪症状がある場合や体調の悪い場合

■新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株は感染力がとても強く、どんなに予防をしても感染してしまうことがあります。だれがどこで感染してもおかしくありません。心無い言葉や態度で他人を傷つけてしまうことがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。感染による偏見や差別につながらないよう、人権尊重、個人情報保護を、全校生の皆さんと先生たち全員でやり切りましょう。

※今後の感染状況などにより上記の対応は変更になることがありますので、注意してください。